



第47期 年次報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

三協フロンテア株式会社

基本理念

目的（存在理由）

社会への貢献

わたしたちは
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、
よって社会に貢献することを目的とします。

基本的価値観（不変の主義）

1 開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、
未開の地（新しい分野）に挑戦することを誇りとします。

2 不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、
困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

3 誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々^{*}に対し、
揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

※「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー
（お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など）を指します。

10年ビジョン（2008年4月～2018年3月）

技術力と収益力において

世界一のモバイルスペースメーカーになり、
資源循環型ビジネスにより社会へ貢献する。

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに第47期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）
報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度（当期）における日本経済は、政府による
積極的な経済政策や金融政策などを背景として、企業収益
や雇用情勢の改善が進み、景気は緩やかな回復基調が続い
ております。

一方で、中国及び新興国の経済の下振れ懸念や原油価格
の大幅な下落など、今後の経済情勢は注視すべき状況が続
いております。

ユニットハウス業界におきましては、民間設備投資が堅
調に推移したことで、需要の高い状態が継続している一方

で、建設労働者の不足が顕在化しており、先行きは楽観視
できない状況となっております。当社のユニットハウス
は、工場内で製品の大部分を製造可能なことから、現在社
会問題化している建設労働者不足の解消に貢献できると考
えております。

このような情勢の中、当社グループは、物流拠点の整備
出荷体制の強化を進め、需要増加に対応できる体制を整え
ております。また、展示販売場やトランクルーム等の販売
ネットワーク拡充についても、計画に沿って継続的に取り
組んでおります。

「必要なとき、必要なだけ、必要な空間を提供する」こ
とにより、当社のユニットハウスは従来の仮設建築市場のみ
ならず、本建築市場、不動産市場にまでその優位性を十分
に発揮できるものと確信しております。“建築の工業化”と
いう当社のコア技術をさらに高めていくことにより、新た
な市場の開拓を図っていく所存です。

今後も創業当時から受け継がれてきたフロンテアスピ
リッツ（開拓の精神）を原点に、社会に貢献する会社を目指
し、情熱を持って活動してまいります。

当期の業績について

ユニットハウスのレンタルにおきましては、民間の設備
投資が前年に引き続き好調を維持しているため、稼働棟数
は前年を上回る高水準となりました。また、デザイン性や
機能性をさらに高めることで、大型物件の受注獲得に努め
ました。トランクルームにおいても、新たに65店舗出店す
るなど売上拡充を図りました。

ユニットハウスの販売におきましては、展示場を新たに
11店舗出店することにより販売チャネルの拡充に努めま

した。また、旺盛な本建築需要に対応するため、全国的に
設計・施工協力会社のネットワーク拡充に努め、店舗・一般
事務所といった本建築物件をさらに強化することで、より
一層の収益の拡大に努めてまいりました。

上記の結果、当期の連結売上高は31,803百万円（前年
同期比6.6%増）となりました。

利益面においては、全社的にコストダウン活動を推進し
たことにより、営業利益4,184百万円（前年同期比8.2%
増）、経常利益4,205百万円（前年同期比10.9%増）、親
会社株主に帰属する当期純利益2,567百万円（前年同期比
12.9%増）になりました。

今後とも、リユース可能なユニットハウスの特長を活か
し、期間限定で空間を必要とするニーズを開拓し、業績の
拡大に努めてまいります。

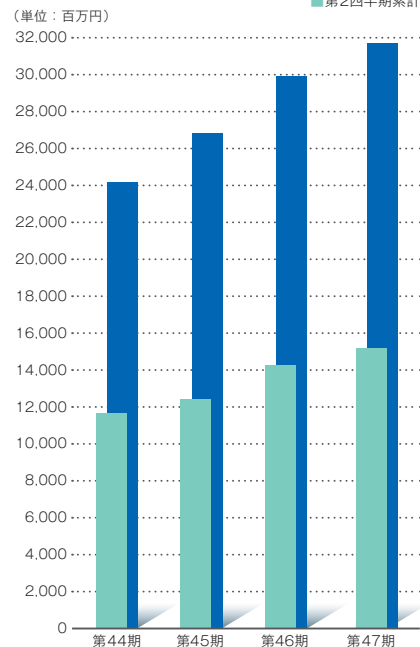
株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指
導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成 28 年 6 月
代表取締役社長 **長妻貴嗣**

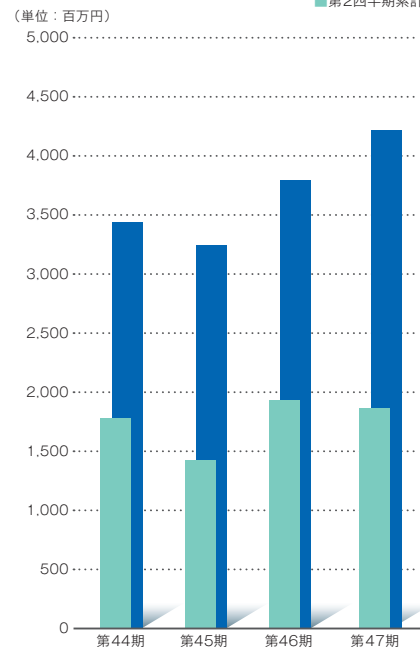
業績ハイライト(連結)

区分	期別	第43期 (平成24年3月期)	第44期 (平成25年3月期)	第45期 (平成26年3月期)	第46期 (平成27年3月期)	第47期 (平成28年3月期)
売上高(百万円)		29,234	24,095	26,747	29,844	31,803
経常利益(百万円)		4,907	3,438	3,244	3,793	4,205
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)		2,469	2,069	2,051	2,273	2,567
1株当たり当期純利益(円)		111.70	92.82	92.28	102.27	115.48
総資産(百万円)		35,312	40,300	47,743	51,906	52,958
純資産(百万円)		18,717	20,040	21,419	23,101	24,862

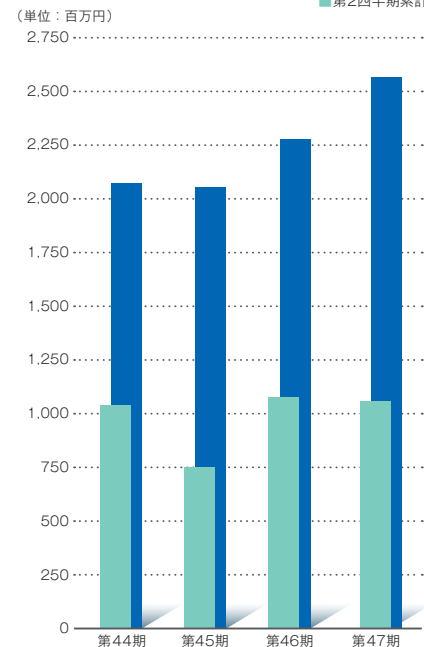
売上高の推移



経常利益の推移



親会社株主に帰属する 当期純利益の推移



免責条項 本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

各事業の概況

ユニットハウスのレンタル

1日からでもレンタル可能。
建設現場からイベント、仮設住宅まで。
必要な期間に最適な空間を提供します。

ユニットハウスのレンタルについては、従来の建設現場事務所といった仮設建築事業だけではなく、建て替え時などに期間限定で利用できる病院や店舗などの本建築事業に注力することにより、受注拡大に努めました。

これらの結果、当期のレンタル料収入は18,331百万円(前年同期比3.4%増)となりました。

今後も、建設現場向けのシェア拡大と新たなレンタル需要の創出を目指し、新規顧客獲得に向けた営業を強化していきます。



建設現場事務所(外観)



建設現場事務所(内観)

ユニットハウスの販売

オフィス、店舗、教育・保育施設、倉庫など
全国のさまざまなシーンで
ユニットハウスが活躍しています。

ユニットハウスの販売は、前期に引き続き、展示場の出店を推進し、販路の拡大を図る一方で、店舗・一般向け事務所といった本建築事業に注力するなど、より一層の収益力の向上を目指しました。

これらの結果、販売売上高は12,792百万円(前年同期比12.1%増)となりました。

今後も市場ニーズに合わせた製品開発に取り組むとともに、展示販売の強化や販路の拡大を推進していきます。



クラブハウス(外観)



クラブハウス(内観)

Topics すぐ来るオフィス [クオ] シリーズ

1

10,000 棟出荷特別記念パッケージ登場

2003年に販売を開始した「すぐ来るオフィスQuo」の累積10,000棟出荷を記念としたパッケージモデルをQuoシリーズのラインナップに追加しました。

小規模のオフィス・店舗などの用途で、よりデザイン性を高めた空間を検討されている方を対象に、1から設計する手間をなくした手軽なパッケージプランとして、2モデルをQuoシリーズのラインナップに追加しました。

リユース可能な製品特性を活かし、移設や増設のフレキシブルさと不要になった際の買い取りサービス等を組み合わせることで、ビジネスの変化に柔軟に対応できる点も特長となります。



【ソーホースタイル】



大きなFIXガラスとウッドデッキが印象的なファサードを演出。側面はシャープな波板仕様。シンプルに、スマートに、そして何にも縛られず、どこまでも自由な空間を演出します。



【ルーバースタイル】



洗練されたブラックのボディに、ナチュラルな木の質感のルーバーパネルをプラス。気になる視線をさえぎりながらも、光や風、人の動きを感じる空間です。シャープさとあたたかみを兼ね備えた外観です。

Topics

2

トランクルームの土地活用、広告強化

当社では、土地活用の一つの手段としてトランクルームのオーナー制度を設けており、昨年11月に日本経済新聞に広告を出稿したところ、多くの反響をいただいております。

かつて、資産運用を支えてきたアパート・マンションなどの賃貸住宅経営や駐車場経営などの市場が伸び悩む今、低リスクで安定した収入を得ることができるトランクルームの土地活用が注目を浴び始めています。

当社では、土地活用の一つの手段としてU-SPACEのオーナー制度を設けております。オーナー様が所有する土地と購入いただいたトランクルームを当社が一括で借り上げ、運営し、賃料売上の一部をオーナー様にお支払いする仕組みです。

昨年11月には日本経済新聞に広告を出稿し、全国のオーナー希望者様から多くの反響をいただいております。この広告ではトランクルーム事業の魅力を伝えるとともに、現在業界内で問題となっている建築基準法に違反したトランクルームについての注意喚起を行いました。

今後、自社のトランクルーム店舗の拡充とともに、業界の健全な発展に寄与できるよう努めてまいります。



屋外型トランクルーム



屋内型トランクルーム

今、土地オーナーに人気のトランクルーム事業とは?

アメリカでは、2兆円以上の市場規模、成長を続けるトランクルーム市場。

なぜトランクルーム事業が人気なのか、その魅力を徹底分析。

1. 安定した収入を得られる
2. 低リスクで始めることができる
3. 資産運用の新たな選択肢

土地オーナーのお悩みは、三協フロンテアのトランクルーム事業で解決。

三協フロンテアのトランクルームなら多彩なメリットで安心!

日本全国に拡大中!

専業主婦に優しい! 専業主婦に優しい! 専業主婦に優しい!

安定収入 10~15% 増収収入 20~30% 売却収入 45%

0120-952-586

日本経済新聞 (平成27年11月18日)

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位：千円)

	第47期末 (平成28年3月31日)	第46期末 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産	12,779,253	11,750,823
現金及び預金	2,813,454	2,575,930
受取手形	929,686	1,052,737
営業未収入金	3,831,887	3,971,081
売掛金	2,044,488	1,563,723
棚卸資産	2,576,107	2,136,575
その他	608,032	464,828
貸倒引当金	△24,403	△14,053
固定資産	40,179,660	40,156,139
有形固定資産	38,773,189	38,884,748
レンタル資産	21,670,249	21,767,713
建物	3,527,837	3,629,912
土地	9,481,842	9,471,264
リース資産	2,176,020	2,214,923
その他	1,917,240	1,800,934
無形固定資産	260,636	223,252
投資その他の資産	1,145,833	1,048,138
資産合計	52,958,913	51,906,962

(単位：千円)

	第47期末 (平成28年3月31日)	第46期末 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債	13,008,335	14,939,919
支払手形	185,156	151,526
買掛金	2,761,077	3,935,088
短期借入金	2,550,340	4,115,496
リース債務	625,326	531,523
未払費用	2,884,581	2,942,168
未払法人税等	961,672	957,065
賞与引当金	389,273	373,692
その他	2,650,906	1,933,358
固定負債	15,087,895	13,865,372
長期借入金	12,102,172	10,875,844
リース債務	1,421,561	1,633,923
役員退職慰労引当金	208,141	197,291
退職給付に係る負債	952,392	792,738
その他	403,627	365,574
負債合計	28,096,231	28,805,292
純資産の部		
株主資本	24,873,970	23,030,146
資本金	1,545,450	1,545,450
資本剰余金	2,776,663	2,776,663
利益剰余金	20,862,232	19,017,519
自己株式	△310,375	△309,487
その他の包括利益累計額	△11,287	71,524
その他有価証券評価差額金	6,084	15,191
為替換算調整勘定	101,421	121,462
退職給付に係る調整累計額	△118,793	△65,129
純資産合計	24,862,682	23,101,670
負債純資産合計	52,958,913	51,906,962

連結損益計算書(要旨)

(単位：千円)

	第47期 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	第46期 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
売上高	31,803,310	29,844,813
売上原価	19,195,513	18,047,080
売上総利益	12,607,796	11,797,733
販売費及び一般管理費	8,423,644	7,932,389
営業利益	4,184,152	3,865,343
営業外収益	158,210	101,848
営業外費用	136,497	173,224
経常利益	4,205,865	3,793,967
特別利益	20,300	—
特別損失	29,346	70,981
税金等調整前当期純利益	4,196,819	3,722,986
法人税等	1,629,620	1,449,389
当期純利益	2,567,199	2,273,597
親会社株主に帰属する当期純利益	2,567,199	2,273,597

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	第47期 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	第46期 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
当期純利益	2,567,199	2,273,597
その他の包括利益	△82,811	78,442
包括利益	2,484,387	2,352,040

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：千円)

	第47期 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	第46期 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,594,776	△1,317,316
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,137,178	△1,040,877
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,213,998	2,386,956
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,075	14,850
現金及び現金同等物の増減額	237,523	43,612
現金及び現金同等物の期首残高	2,395,930	2,352,318
現金及び現金同等物の期末残高	2,633,454	2,395,930

連結株主資本等変動計算書(自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	1,545,450	2,776,663	19,017,519	△309,487	23,030,146	15,191	121,462	△65,129	71,524	23,101,670
会計方針の変更による 累積的影響額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
会計方針の変更を反映した 当期首残高	1,545,450	2,776,663	19,017,519	△309,487	23,030,146	15,191	121,462	△65,129	71,524	23,101,670
当期変動額										
剰余金の配当			△333,462		△333,462					△333,462
剰余金の配当(中間配当)			△389,024		△389,024					△389,024
親会社株主に帰属する当期純利益			2,567,199		2,567,199					2,567,199
自己株式の取得				△888	△888					△888
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△9,106	△20,040	△53,664	△82,811	△82,811
当期変動額合計	—	—	1,844,712	△888	1,843,824	△9,106	△20,040	△53,664	△82,811	1,761,012
当期末残高	1,545,450	2,776,663	20,862,232	△310,375	24,873,970	6,084	101,421	△118,793	△11,287	24,862,682

企業の概要 (平成28年3月31日現在)

商号	三協フロンテア株式会社	
本社所在地	〒277-8539 千葉県柏市新十余二5番地	
資本金	15億4,545万円	
代表者	代表取締役社長 長妻 貴嗣	
設立	昭和44年12月5日	
事業内容	1. ユニットハウスの製造・販売・レンタル 2. トランクルームの製造・販売・レンタル 3. 立体式駐車装置の製造・販売・レンタル	
役員	取締役会長	長妻 和男
	代表取締役社長	長妻 貴嗣
	常務取締役	端山 秀人
	取締役執行役員	小島 豊
	取締役執行役員	三戸 茂夫
	取締役執行役員	藤田 剛
	取締役執行役員	小嶋 俊一
	常勤監査役	村井 康之
	監査役	上田 俊郎
	監査役	重田 龍男
	監査役	山崎 直人

特定建設業許可 国土交通大臣許可(特-26)第18154号
 一級建築士事務所登録 千葉県知事登録1-1204-1483号

株式の状況 (平成28年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	60,000,000株
発行済株式の総数	23,356,800株
1単元の株式の数	1,000株
株主数	1,604名 (平成27年9月末比202名増)
大株主	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(有)和幸興産	11,233	48.09
長妻 貴嗣	3,314	14.19
長妻 和男	648	2.77
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	435	1.86
三協フロンテア従業員持株会	333	1.42
三菱UFJ信託銀行(株)	200	0.85
(株)千葉銀行	195	0.83
長妻 幸枝	180	0.77
内田 正美	172	0.73
日本生命保険相互会社	162	0.69

※当社は自己株式を1,126千株保有していますが、上記大株主からは除外しています。

株主メモ

事業年度
4月1日～翌年3月31日

定時株主総会
毎年6月

期末配当金受領株主確定日
3月31日

中間配当金受領株主確定日
9月30日

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

公告の方法
電子公告 (URL <http://www.sankyofrontier.com/>)
※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

上場証券取引所
東京証券取引所 JASDAQ スタンダード

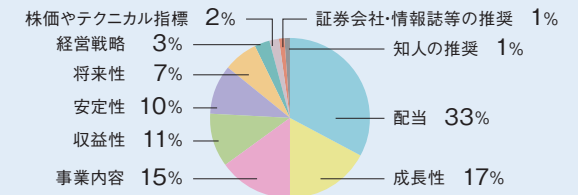
(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

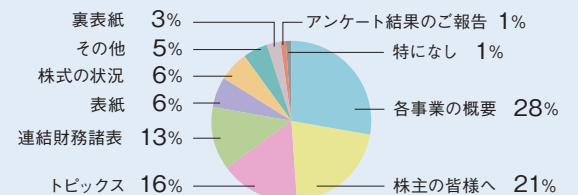
アンケート結果のご報告

「第47期 中間報告書」で実施した株主様アンケートの集計結果をご報告します。137名の株主の皆様からご回答をいただきました。厚く御礼申し上げます。株主の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、今後の経営方針やIR活動の参考にしてまいります。

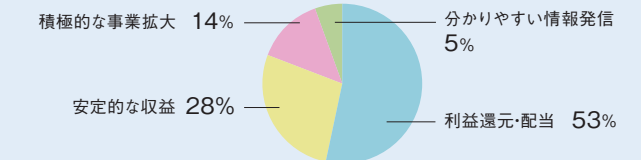
Q1 当社の株式を購入された理由をお聞かせください。 (複数回答)



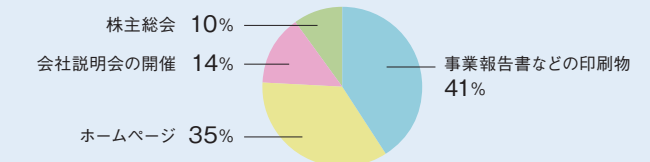
Q2 事業報告書の内容で最も興味深かった内容は何ですか? (複数回答)



Q3 今後、当社に望まれることについてお聞かせください。 (複数回答)



Q4 今後、当社のIR活動について、充実してほしいことをお聞かせください。



本設事業拡大中！

～施工例紹介～

47期も本設事業は順調に規模を拡大しております。

会社事務所、動物病院、治療院、店舗、学習塾、仮設園舎など幅広い用途でご利用いただいております。

ユニットハウスの特徴であるスピード施工だけでなく、当社独自のFIX窓やルーバーパネルなどの充実したオプションラインナップをご用意することにより、本設事業において意匠性の高い空間を求めのお客様のニーズを満たしてきました。

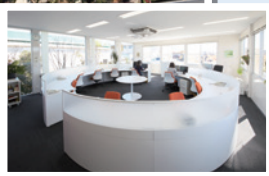
今後も当社はユニットハウスを通じて最適な空間をお客様に提供することを目指していきます。



治療院



会社事務所



学習塾



当社ホームページのご案内

今後とも、事業報告書やホームページの充実を図り
株主の皆様方へ分かりやすい情報提供を心がけてまいります。

<http://www.sankyofrontier.com/>